

11.
2022

—まほろばだより—

MAHOROBA DAYORI



発行 令和4年11月

「ブラジルで見たこと 思ったこと」

社会福祉法人まほろば 理事長 飯降政彦

私はこの度、ブラジルに出掛ける機会を得た。サンパウロに、関係の皆様60年の丹精が実り、私が会長をつとめる郡山大教会系列の教会が新たに誕生し、その設立奉告祭に赴いたのである。

60年前、今回就任する会長の父親は、慣れない移住地での新生活、子育て、布教活動に黙々と尽くし、教会設立も目前と考えられていた時、不慮の交通事故で亡くなった。それから30年、そんな大変な中も、夫人と遺児は父親の遺志を継いで、信仰の火を灯し続け、今日を迎えた。正に、親の志を子・孫が継いでいく誠に貫いた所業であると思う。何事も続いてこそ、続けられてこそであり、継続こそ大切の一実例だと考えさせられた。

今回の久しぶりの海外渡航で思い知らされたことの一つが、スマホというポケットに入る小さな機器の存在である。この中に世界があり、これを活用することによって、世界を知り、世界を闊歩できる。そしてどこにいても、ホームと繋がり、未知の人とも繋がっていく。今回ほど時の流れ、科学、文化の発展、進歩の早さを思い知らされたことはない。

まず、航空機の搭乗。スマホにある情報で、人手にかかることなくチェックイン、機上の人となる。(これは、私など高齢者にはくせ者、一寸操作を誤ると、にっちもさっちもいなくなる。尋ねようにも係員は極端に少ない。機上の人となった時には根尽き果てている。)日本の日常生活は、まだまだ人の手が主流。暖かい。今回の訪問地、ブラジルもアメリカも、物品購入は露店でも屋台でもスマホをかざす、あるいはカード支払い。現金は持ち歩かない。持っていれば、路上強盗に出くわした時と聞いた。日本の状況が遅れているというのか。でも、人間的で温かい。

ブラジル入国時も、スマホに入力したワクチン証明を提示。帰国時はPCR検査陰性証明、青色画面を提示。

スマホに入れた翻訳アプリ、こんなもの飾り物で、実際は役に立たぬと勝手に決め込んでいた私。

そんな私を驚かせたのは、サンパウロの教会で会った日本人の娘さん。彼女は どうやって日本からここに？ どうやって暮らしているの？と尋ねると、翻訳アプリをいれたスマホを指して「ブラジル語を覚え、慣れるまでこれで」と、この娘さんケロッとして答える。大胆不敵、怖いもの知らずの行動を可能にせしめるスマホ。

帰国しての大きなショックが二つあった。その一つ、何と日本は暑い。冬のブラジルから一足飛びに真夏の日本。当然のことである。しかしこの暑さは、以前、ジャカルタ、バンコク、カルカッタに降り立った時に感じたどうしようもない、やる気をそがれる暑気、湿気。私の体が覚えている東南アジアの暑さであった。

そしてさらに、コロナウイルス感染。第7波のピーク時であった。ブラジルにてはマスク姿ほとんどなし。ワクチンも3回4回接種の人は少ない。食堂、レストランも繁盛。教会における私の送別会には30人ほどの人たちが色々なところから集まってくださった。そして「サルー(乾杯)」「サルー」が3時間続いた。日本で留守番の家内が見たら、卒倒するであろう光景。

そして、帰国途中立ち寄ったニューヨークでのPCR検査は陰性。

日本に帰国して4・5日して、私の周辺でも、知人、友人が次々とコロナ感染、隔離。これは一体どういうことか？大きなショックの一つだった。

ウイルスにピリピリする日本社会。いふなれば、おらかなブラジル。しかし今は日本の方が、その数はどんどん増えている統計を毎日見せられる。何と、摩訶不思議なウイルスである。そして、ローカルにグローバルに考えさせられるウイルスである。

危険！！ ナラ枯れ！！

～ナラ枯れをみんなで
知って考えよう～

昨年の秋、シイタケの山に入って作業をしていた際に、山の木が2～3本枯れていることに気が付きました。調べてみたところ枯れているのはナラやクヌギなどが多く、どうやら虫による被害だったようです。

些細なことがきっかけでしたが、これが思いも寄らぬ取り組みになったのです。ナラ枯れは放置しておくとう倒木やがけ崩れを引き起こす恐れがあり、何とかして防がなければ！と調べていった結果、その事に詳しいある先生に行き着きました。

ナラ枯れって何？

簡単に言うと…

カシノナガキクイムシ（以下カシナガ）という虫が、ブナ科樹木（ブナを除くナラ類、シイ・カシ類）に集中的な攻撃（マスアタック）を加えることで樹木が枯れる被害です。

ナラ枯れ防除のプロ、 小林正秀先生！！

ナラ枯れで困っているならこの先生！！という情報を得て、専門家である小林正秀先生に現状を相談し、ナラ枯れの防除法を教えてくださいました。

「カシノナガキクイムシ」 ってどんな虫？



全長
5mm

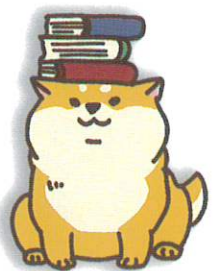
- ① 大きな巣が作れることから巨木が大好きで、穴を開けて中に入り、1匹で400～500個の卵を産む。
- ② メスの背中に木を腐らせる菌があり、木を食べ進めながら腐らせる。またその菌を育てながら食べている。
- ③ 視力が弱く、歩行が苦手だが高い飛翔力と鋭い嗅覚をもっている。この鋭い嗅覚を利用して、オスは集合フェロモンを発散し、仲間を大量に集める。
- ④ 10、11月に木を枯らし、5、6月に幼虫が成長して更に繁殖し、5倍のスピードで木を枯らしていく。

カシナガトラップ

カシナガの攻撃を受けても生き残った木（穿入生存木）を増やすことで、繁殖に失敗するカシナガを増やし、結果的にナラ枯れを抑える、という方法です。カシナガの数を減らすことで、ナラ枯れを抑えるのです。

カシナガの穿入を受けた木のうち半数程度は穿入生存木になり、これに穿入したカシナガは木の抵抗（樹液）によって死亡します。このカシナガトラップは木に加勢することで被害を抑える方法であり、自然の力を活かした薬剤に頼らない安全な防除法であることを教えてくださいました。

また、ナラ枯れ対策で最も経費が掛かるのは枯死木の処理であり、その作業は危険も伴います。しかし、カシナガトラップの最大の特徴は、枯死木の発生を抑えることで、安全で尚且つトータルの経費も抑えられます。



小林正秀先生プロフィール

京都府森林技術センター主任研究員。専門分野は丹波栗。限界集落で農林業を営み、大学講師もしながら役所に勤め、独りで産官学をこなす。栗の獣害や虫害にたいして撃退器や氷蔵処理などを開発。ナラ枯れでは、多数の防除法を開発・普及させている。

カシナガトラップの仕組み

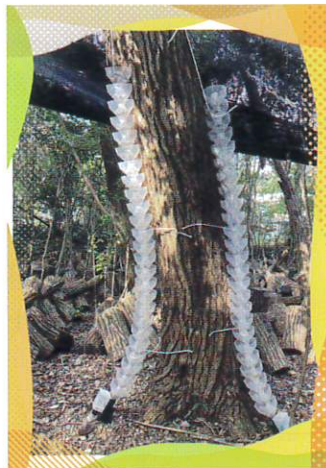
カシナガの特徴

- ・カシナガは雄が幹に掘った穴から集合フェロモンを発散し、仲間を誘引する
- ・優れた嗅覚と飛翔力を持ち、遠くから集まってくるが、視力が弱く歩行が苦手

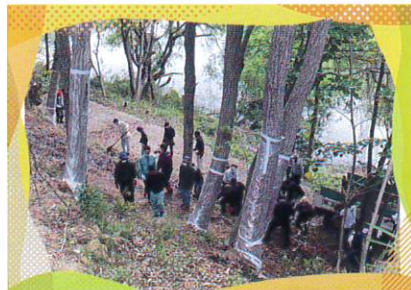
この特徴を利用して、

- 1 カシナガトラップのエタノールによって誘引された雄が、集合フェロモンを発散する。
- 2 誘引された成虫の多くは、トラップの透明の漏斗に衝突して捕虫部の黒色ボトルへと落下する。
- 3 カシナガは正の走光性であるため、透明ボトルへと移動し、エタノール入りのペットボトルに落下する。
- 4 エタノールに浸かったカシナガは短時間で死亡し、腐敗しない。

カシナガの大量捕獲で被害を抑えるのではなく、カシナガが木の中に入れないように時間を掛けている間に、抵抗する力を蓄えた穿入生存木を増やすことが大切なのです！



カシナガトラップを設置しました！



天理教愛実町布教所の方々がナラ枯れ対策の作業をご協力くださいました！

実際の取り組み

古神グラウンド周辺の土地は急勾配や崖があり、ナラ枯れによる倒木で地滑りや崖崩れの恐れがあります。まずはグラウンド周辺から守って行こうと対策が始まりました。

天理教愛実町布教所のボランティア約130名が4月15日に、約200本の木の幹にラップを巻いていく作業を実施して下さいました。

次に、法人職員で組み立てたトラップをグラウンドの木に設置しました。そして金棒池山、シイタケ山、三木光司園の裏など、合計12基ずつ設置していき、2週間で約90,000匹のカシナガを捕獲することに成功しました。

里山の周辺に通学路がある子どもたちが、通学中に突然巨木が倒れて巻き込まれたら？その原因がナラ枯れによるものとしたら？？自然と共に暮らす私たちは、自然の状態を知っておく必要があります。「ナラ枯れの課題はまほろばだけの問題ではなく、色々な所へ声掛けをして地域へ広げて対策をすることが大事」と理事長からのお話もあり、現在、周辺の地域に声掛けを行っています。今後もナラ枯れについての情報伝達や対策について進め、みんなで考えるきっかけになればと思います。ナラ枯れについてのご質問等がありましたら、三木光司園 園長までご連絡ください。

お問い合わせ：三木光司園 TEL 0794-83-3181 まで

ウェルフェア まほろば

管理者就任

令和4年4月1日付 ウェルフェアまほろばの管理者に釣上啓行が就任しました。前管理者の門口守子様よろしくお願いたします。門口守子は、引き続き法人の常務理事及びホームまほろばの管理者を勤めさせていただきます。

釣上管理者より一言ごあいさつ

この度、門口守子の後任として、ウェルフェアまほろばの管理者を勤めさせていただくことになりました、釣上啓行と申します。これまで、同法人の管理部として、各施設内外の管理をさせて頂いておりましたが、今年度より法人本部の管理も含め、ウェルフェアまほろば(就労継続支援A型事業所)管理者として皆様によるこんで仕事に取り組んでいただけるよう精一杯努めてまいりますので何卒宜しくお願致します。



ウェルフェアまほろば
管理者 釣上啓行

コロナ禍での 一場面 (振り返り)

withコロナとなり社会参加が進められていますが、この機会に当初の感染予防への取り組みを振り返ってみたいと思います。

スキルの獲得には多くの時間が必要でした。普段はマスクをしているのに会話になるとマスクを外す人もいました。「社会的距離は今の距離です」と伝えると「わかりました」と近づいてくる人もいました。緊急事態宣言が解除されると、「(宣言が)解除されたからコロナはなくなった。もう大丈夫だ!」と考える人もいました。ちょうど「台風が去ると警報も解除される」という感覚です。「ウイルスが無くなったわけではありません」と引き続きの感染対策を求めることにも多くの助言を必要としました。今となっては笑い話で、こんな記事のネタにもできるわけですが、その方の言葉と所作の理解度や思考に合わせて感染予防スキルや新しい社会のマナーについて根気よく説明を重ねて実践に繋げていきました。

あれから2年半、まだまだ新しい工夫を模索しながらの日々の活動ですが、今後とも一手一つにつとめさせていただきます。



自分で検温をして記入



工場に入る前にも消毒



ウエルフェアまほろばでは、コロナ感染状況も少し収まっていたこの秋に久しぶりに日帰り旅行へ行かせて頂きました。
行きたい場所のアンケートを取り、2日間の2班に分けて行ってきました。

**11月2日
ネスタリゾート神戸**

様々な40種類以上あるアクティビティで1日遊び放題です。
昼食は敷地内のBBQ会場でBBQと大きなハンバーガーのセットでした。
お腹が満たされた後も帰る時間ギリギリまで皆さんアクティビティを満喫していました。



ダブルデッカー(2階建てバス)に乗って敷地内を移動!



スカイ・イーグル!!
空を飛んでいるみたい!!

ハンバーガーセット!!
みんなでいただきます!



カヌーに乗って
すいすい♪

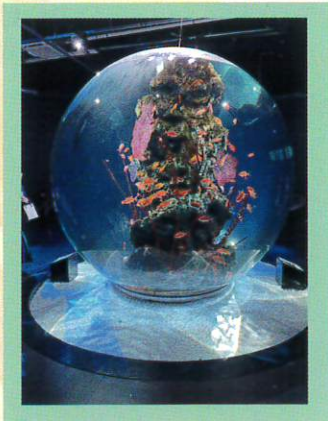


バギーに乗って
きました!

**atoa 11月9日
AQUARIUM×ART**

幻想的なアートを融合させた新しい水族館に心を奪われました。
可愛いペンギンやお魚さんを眺め館内を散策。
そこから少し遅めのランチは、神戸メリケンパークオリエンタルでのバイキングで皆さんとても喜ばれていました。

球体水槽!!



動物や魚!!
生き物がいっぱい!!

バイキング!!
お腹いっぱい!!



ホーム いちよう
(女性限定)

設立年月日

平成28年10月1日

定員

7名

現員

5名 (令和4年9月現在)



グループホームとは

グループホーム（共同生活援助）とは、障がいのある方が地域の中で自立した生活を送れるようになることを目標として必要な支援を行います。グループホームには家事援助・日常生活での相談を受ける世話人、介護支援を行う生活支援員などの職員がいて日常生活上の援助や介護支援を受けながら自立した暮らしを目指せる生活の場です。

利用対象者

ホームいちようで共同生活の場をご利用できる方は、障害者総合支援法による共同生活援助（訓練等給付）の支給決定を受けた18歳以上の「障がい者」に該当する方で、日中活動（就労や活動の場所）がある方、他者との共同生活に支障のない方が対象となります。必要に応じてスタッフが支援を行いますが、自分の出来る範囲で掃除や洗濯などを行って頂いております。

どれぐらい
食べようかな♪



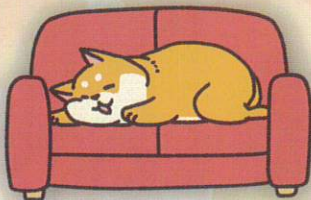
盛り付けの
お手伝い♪
美味しそ〜♡



私のお部屋！
落ち着く♪



自分の分は
自分でお洗濯♪



永年勤続 表彰

1Q この10年間で1番嬉しかったこと（楽しかった事、心に残っている事）を教えてください。

2Q 何か一言お願いします。（振り返ってみて、これからの目標など）

母屋 水耕栽培
大脇 英明



1A この10年間で1番心に残っていることで、まず最初に思い浮かんだのは私が最初に行った嵐山～太秦映画村の母屋の日帰り旅行です。仕事以外のメンバーさんの素顔に初めて触れて楽しかったのを覚えています。

2A どうしたらメンバーさんが生き生きと作業ができるか、水耕の作業にやりがいも持ってもらえるかなどを日々試行錯誤しています。メンバーさん一人一人の心が豊かになれるようにこれからも寄り添っていきたいと思います。

母屋 水耕栽培
平石 光代



1A 働くようになって初めてまほろばカーニバルにメンバーさん達と一緒に参加し、水耕の野菜を販売したり、普段は作業所が離れているため交流のないメンバーさん達とも交流ができたことが心に残っています。

2A まほろばで働かせてもらったこの10年間で両親、妹がなくなりました。そしてコロナの流行、親しい人にも会うことができなくなり気持ちが落ち込むことが多くありました。そんな中、メンバーさんの明るさに元気をもらいました。これからもメンバーさんが少しでも出来ることが増えるように一緒に頑張っていきたいです。

母屋
冨田 奈々



1A 初めての一泊旅行（USJと吉本新喜劇）。泊まりということで不安と緊張の方が大きい中、メンバーさんの普段見られないような嬉しい表情を見れたことが印象的でした。最終的には自分もしっかり楽しんでいました。

2A 他人にちゃんと優しくなれなかった反省から今後は他人に優しく自分に厳しくを目標に頑張りたいです。

ウェルフェアまほろば
南 祐史



1A 旅行は良い思い出です。仕事場では見る事のできない皆さんの一面を発見できた時はさらに楽しくなりました。

2A いつの間にか10年が過ぎていました。初心を忘れずにいたいです。

ウェルフェアまほろば
木谷 佳孝



1A 数年前にがんを患いました。当時、不安だった私を温かい言葉で励まして頂いた事、また、克服後もまほろばで働かせていただける事、嬉しく心から感謝の気持ちでいっぱいです。

2A これからも一生懸命頑張ります。



決算報告

法人全体(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度
社会福祉法人まほろば
決算・事業報告

資金収支計算書

事業活動 収支	事業活動収入計	843,370
	事業活動支出計	821,924
	事業活動資金収支差額	21,446
施設整備 等収支	施設整備等収入計	0
	施設整備等支出計	16,654
	施設整備等資金収支差額	△16,654
当期資金収支差額合計		4,791
前期末支払資金残高		431,423
当期末支払資金残高		436,214

事業活動計算書 (単位：千円)

活動の増減	サービス活動収益計	821,389
	サービス活動費用計	875,070
	事業活動資金収支差額	△53,681
活動の増減	サービス活動外収益計	21,981
	サービス活動外費用計	4,400
	サービス活動外増減差額	17,581
特別増減	特別収益計	645
	特別費用計	1,477
	特別増減差額	△832
当期活動増減差額		△36,932
差増減額	前期繰越活動増減差額	1,070,840
	当期末繰越活動増減差額	1,033,908



決算を終えて

令和3年度も、2年前より続いている新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、中でもウェルフェアまほろばのパン・菓子事業は、観光業の低迷や原材料などの高騰により減収・減益となり、厳しい1年となりました。

事業報告

1 理事会・評議員会の開催

令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、オンラインや決議を省略し、開催しました。

	会議名・開催方法	開催日・決議日
理事会	第1回理事会 (オンライン)	令和3年6月5日
	第2回理事会 (オンライン)	令和3年6月21日
	第3回理事会開催	令和3年12月2日
	第4回理事会 (オンライン)	令和4年3月17日

	会議名・開催方法	開催日・決議日
評議員会	定時評議員会 (決議の省略)	令和3年6月11日
	第2回評議員会開催	令和3年12月13日
	第3回評議員会 (決議の省略)	令和4年3月27日

主な決議事項…令和2年度事業報告・計算書類等の承認、令和3年度補正予算案承認、令和4年度事業計画・予算案承認、定款変更、次期役員・評議員の選任、理事長及び業務執行理事の選任、評議員会の招集、土地の購入、管理者交代、経理規程・就業規則・運営規程改定、ハラスメント防止規程制定、自立生活援助事業の廃止等

2 補助事業実施

- 西区共同募金会様より助成いただきホームまほろばに防犯カメラを設置することができました。
- 三木光司園 神戸やまぶき財団様より助成いただき、就労支援事業(農事業)に使用する露地灌水システムを設置しました。

読者様からのご意見を募集しています

皆様のご意見をお寄せ下さい。年に2回のまほろばだよりですが、読者の皆様からのご意見を募集して要望や情報等を共有し、今後の活動や支援等に役立てていきたいと考えております。

●ご連絡は郵便、電話、FAXでお寄せ下さい。

〒673-0434 社会福祉法人まほろば

住所：三木市別所町小林字仕負谷118番地111

電話：0794-82-9457

FAX：0794-82-3784

担当：広報係迄

ホームページ：<http://www.mahoroba.or.jp>

QRコード

